

保育原理

【問1】次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」の4「保育所の社会的責任」の一部である。

（ A ）～（ E ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・保育所は、子どもの人権に十分配慮するとともに（ A ）を尊重して保育を行わなければならない。
- ・保育所は（ B ）との交流や連携を図り、保護者や（ B ）に、当該保育所が行う保育の（ C ）を適切に説明するよう努めなければならない。
- ・保育所は（ D ）の個人情報を適切に取り扱うとともに（ E ）の苦情などに対しその解決を図るよう努めなければならない。

（組み合わせ）

	A	B	C	D	E
1	子どもの保護者の人権	地方自治体	内容	保護者や職員等	近隣住民
2	子ども一人ひとりの人格	地域社会	効果	保護者や職員等	保護者
3	子どもの保護者の人権	地域社会	内容	入所する子ども等	近隣住民
4	子どもの保護者の人権	地方自治体	効果	保護者や職員等	保護者
5	子ども一人ひとりの人格	地域社会	内容	入所する子ども等	近隣住民

【問2】

次の文は、保育所における「保育のねらい及び内容」に関する記述である。「保育所保育指針」第3章「保育の内容」に照らして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A「養護」とは、子どもの身体の健康を図るために保育士等が行う援助や関わりである。
- B「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助である。
- C「ねらい」は、保育の目標をより具体化したものである。
- D「内容」は、「ねらい」を達成するために、保育士等が計画に沿って子どもを指導する事項を示したものである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

【問3】

次の文は、保育における人権の配慮に関する記述である。(A)～(C)にあてはまる適切な語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」(昭和23年厚生省令第63号)第9条では「児童福祉施設においては入所している者の(A)信条、社会的身分又は入所に要する費用を負担するか否かによって(B)取扱いをしてはならない」とされており、この方針は子どもの人権の配慮とともに「保育所保育指針」第1章「総則」において保育所の(C)の一つとして明記されている。

【語群】

ア 国籍	イ 個性	ウ 社会的責任	エ 排除的
オ 倫理観	カ 差別的	キ 性別	ク 説明責任

(組み合わせ)

	A	B	C
1	ア	エ	ウ
2	ア	カ	ウ
3	イ	エ	ク
4	キ	カ	オ
5	キ	カ	ク

【問4】

次の文は、保育の歴史についての記述である。（ A ）～（ C ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ドイツの教育者である（ A ）は、世界で最初の幼稚園（Kindergarten）の創設者である。主著である『人間の教育』（1826 年）の中で、幼児期においては（ B ）がこの時期の子どもの最も美しい表れだと主張した。彼は幼児のための遊具（Gabe）を考案したが、これは、明治時代になって（ C ）の編集した『幼稚園法二十遊嬉』等によってわが国に紹介された。

（組み合わせ）

	A	B	C
1	ルソー(Rousseau,J.-J.)	遊び	中村正直
2	フレーベル(Frober,F.W.)	作業	近藤真琴
3	ルソー(Rousseau,J.-J.)	無垢	関 信三
4	ロック(Locke,J.)	作業	中村正直
5	フレーベル(Frober,F.W.)	遊び	関 信三

【問5】

次の文のうち、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の（1）「養護に関わるねらい及び内容」のイ「情緒の安定」の一部として、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一人一人の子どもが、安定感を持って過ごせるようにする。
- B 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。
- C 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。
- D 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。
- E 一人一人の子どもの心身の疲れが癒されるようにする。

（組み合わせ）

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	×	○
3	○	×	×	×	○
4	×	○	×	○	×
5	×	×	○	×	○

【問6】

次の保育所での【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

園庭で遊んだ後にお話し会が予定されている。お話し会の前に、トイレに行こうとしたT君（4歳）と、ちょうどトイレから出てきたS君（4歳）とが正面からぶつかってしまった。保育士が確認したところ、二人とも怪我はなく手当ての必要はなかった。T君とS君は泣きながら、相手のことを怒っている。

【設問】

「保育所保育指針」第1章「総則」の（2）「保育の方法」第2章「子どもの発達」第3「保育の内容」の2「保育の実施上の配慮事項」に基づいた保育士の対応として、最も不適切なものを一つ選びなさい。

1. 自分たちで解決することも大切なので、やりとりをそばで見守る。
2. 二人の話を聴き、わざとぶつかったのではないこと、お互いに痛かったことを伝えるように促す。
3. T君とS君に、ぶつかったりしないように、周りに注意して行動するように伝える。
4. いつまでも怒っていないで、お互いに早く謝り仲直りをするように伝える。
5. 二人の気持ちを受け止め、落ち着いたところで、お話し会が始まることを知らせ、参加するように促す。

【問7】

1963（昭和38）年に、（ A ）と厚生省の共同通知として「幼稚園と保育所との関係について」が発出された。この通知では、それぞれの機能の独自性を明示するとともに、「保育所のもつ機能のうち、教育に関するものは（ B ）に準ずることが望ましい」と示し、保育内容の統一化が図られた。そこで、（ B ）の改訂・告示を受けて、厚生省は、（ C ）年に「保育所保育指針」を公表した。ここでは、保育所保育の基本的性格について「（ D ）と教育が一体となって」と示されるとともに、子どもの発達上の特性、年齢別の保育内容、指導上の留意事項等の具体的な記載がなされ、最初の「保育所保育指針」として大きな役割を果たした。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	文部省	幼稚園教育要領	1965(昭和40)	養護
2	内閣府	幼稚園教育要領	1975(昭和50)	保護
3	内閣府	保育要領	1965(昭和40)	保護
4	文部省	保育要領	1965(昭和40)	養護
5	文部省	幼稚園教育要領	1975(昭和50)	保護

【問8】

次の文は、3歳児クラスを担当する保育士のWさんが、自分の勤める保育所において行っている業務（行為）に関する記述である。「保育所保育指針」第4章「保育の計画及び評価」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A Wさんは、自らの保育実践を振り返るとともに、職員と話をしながら保育の質の向上のための自らの課題を明確にしている。
- B Wさんは、指導計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価に取り組んでいる。
- C Wさんは、自らの自己評価は個人的な実践の評価であるため、施設長や職員に開示していない。
- D Wさんは、子どもがその活動に取り組んだ過程よりも、何ができて何ができなかったかという結果を重視する考え方に立って保育の評価を行っている。
- E Wさんは、保育の内容の評価については、定期的に保護者に意見を聴く方法を取り入れている。

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	○	×	×
3	○	○	×	×	○
4	×	×	×	○	○
5	×	×	×	×	○

【問9】

次の【Ⅰ群】及び【Ⅱ群】は、「保育所保育指針」第6章「保護者に対する支援」の一部である。
【Ⅰ群】の記述に続くものを【Ⅱ群】の記述から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 子育て等に関する相談や助言に当たっては、
B 地域の子育て支援に関する資源を積極的に活用するとともに、
C 子どもの利益に反しない限りにおいて、

【Ⅱ群】

- ア 保護者や子どものプライバシーの保護、知り得た事柄の秘密保持に留意すること。
イ 保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を基本に、保護者一人一人の自己決定を尊重すること。
ウ 子どもの福祉を重視すること。
エ 子育て支援に関する地域の関係機関、団体等との連携及び協力を図ること。
オ 子どもと保護者の安定した関係に配慮して、保護者の養育力の向上に資するよう、適切に支援すること。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	ア	エ	イ
2	イ	エ	ア
3	イ	オ	ウ
4	ウ	オ	ア
5	オ	エ	ア

【問10】 次の保育所での【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。**【事例】**

保育室での遊びの際、1つのテーブルが小麦粉粘土遊びの場となっている。近くのテーブルにいるMちゃん（1歳4か月）は、まわりで子ども達が小麦粉粘土で遊ぶ様子が気になるようで、チラチラと見ている。他の子の手に小麦粉粘土がついている様子を見て、それはいやだと思ふのか、テーブルに行くことはしない。Mちゃんは、しばらく前に指に絵の具をつけるスタンプ遊びを行ったときも、自分から絵の具を指につけることはなかった。Mちゃんは、苦手だと思ふ遊びには加わらないことが続いている。

【設問】

「保育所保育指針」第2章「子どもの発達」、第3章「保育の内容」の（3）「3歳未満児の保育に関わる配慮事項」、第6章「保護者に対する支援」に照らし、Mちゃんの担当保育士の対応として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 何事も一度はやってみることが大事なので、小麦粉粘土のテーブルに座らせて小麦粉粘土を手を持たせてみる。
 B 他の子が楽しんでいる様子を見せて誘ってみるが、Mちゃんがやりたがらない様子であればその気持ちを受け止める。
 C 小麦粉粘土に限らず、砂や土、泥で遊ぶなど、保育所の遊びの中でいろいろな素材の感触を味わえるようにする。
 D Mちゃんの保護者に、Mちゃんは苦手だと思ふ遊びは自分からやらないが、まわりの子どもが遊ぶ様子を見るようになってきていると伝える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○